6666 まぐび わわら版
発行
苫前町郷土史研究会
苫前町郷土資料館 ⑬
平成22年6月

もっと まちの歴史を探究し 地域に協力しよう!!

郷土史研究会

～アイヌのチセで総会開催～

郷土史研究会の総会が六月一日、午後五時から、古代の里のアイヌのチセで開催され、参加した会員や公民館職員など十二名が熱心に今年度の事業などについて協議を重ねた。

総会のあと放談会に移り新年度事業として、昭和三十年代の苫前と古丹別の街並地図の完成と年二回の「かわら版」の発行、学社融合事業の歴史探訪への講師派遣、また九月四日には公民館とタイアップして成人講座「ふるさとぐるっと散歩道」を開催。これは苫前地区の史跡を訪ねるウオーキング企画で、昨年に続き、ふるさと塾として多くの町民の参加をよびかける。

懐かしいあの日あのとき…

街並地図7月完成予定

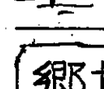
昭和三十年代の苫前町は過渡期であった。その変遷をしのぶため苫前地区と古丹別地区の両市街を記憶をたどりながら、より正確にと数回の検討会を重ね、個人宅を除く当時の商店や旅館、飲食店や料亭、工場、主な施設などを地図におとして町民の皆さんに懐かしんでもらう。

一次産業の最大の柱であった鰊が昭和三十年にぷっつりと姿を消してから、特に漁業にたずさわる人達の生活が様変りした。いままでの"獲千金"から出稼ぎ等に転じ貯蓄精神に目覚めて家を新築したり、子弟の教育にも熱心に傾注し、通年の生活が安定した。農業も浮き沈みはあったものの、主たる稲作も順調で、三十年代後半は苫前町全体が活気に溢れつつあった。

街並地図は、両市街図とも横二〇センチ、縦七三センチで、七月中に完成する予定です。

郷土資料館で夏休み期間中開催する特別展において展示しますので町民の皆さんには資料館まで足を運んでご覧いただければ幸いです。

またお金に帰省する親戚や知人友人など多くさんお誘い合ってお出でください



苫前町は今年で百三十歳になりました

～明治～大正～昭和～平成と、年号が変わりましたが、わたしたちの苫前町は明治十三年、苫前に戸長役場が置かれてから今年で百三十年を迎えた。

この間、国内外や町内でも大きな事変が起きました。過ぎ去った世代を今一度思い起こしてみては。主なものでは、大平洋戦争勃発、朝鮮動乱、ベトナム戦争、皇太子御成婚、東京オリンピック開催、町内では鰊の大豊漁つづく(昭和三十年まで)また昭和三十年の人口は一万一千六〇〇人余りに達した。町制施行(昭和二十三年)開基百年記念を全町挙げて祝う(昭和五十五年)国鉄廃止(昭和六十三年)

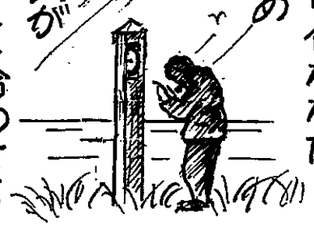
知っていますか? 御所車(ごしょぐるま)

―海難事故者の冥福祈る―

明治から昭和にかけて苫前の沿岸地帯数ヶ所に、海難事故に合われた方々のご冥福を祈るため御所車という木柱に木の車を組み込んだ塔が立っており

その前を通りかかった人が海に向って車を廻して手を合わせて海難事故者のご冥福を祈ったという。

今はその面影もないが、昔の人の心は深く厚いものが感じられてならない。



郷土資料館の特別展は

～昭和三十年代の街並地図展示～

郷土史研究会が今年度のメーン事業として作成している昭和三十年代の苫前と古丹別市街の街並地図を展示し当時の風景などの写真も添えて皆さんにご覧いただきます(期日7/24～8/17)

資料館からお願い

最近、古代の里で遊ぶ子供達が多く見受けられますが帰った後にはお菓子の袋や飲みものの容器などたくさん捨てられており、またアイヌの家の床には穴が開けられておりました。公共施設を大切に!

郷土資料館の一

入館料は

- 大人(高校生以上) 100円
- 小人(小学生以上) 50円
- 団体(10人以上) 大人 70円 小人 30円

開館時間と休館日は

午前10時～午後5時
但し入館は午後4時30分まで
月曜日は休館日です
※7月24日～8月17日 休館日なし